

2017年中（暦年）のご寄付者のみなさまへ

あしなが育英会

会長 玉井 義臣

「受領証明書」ご送付と事業報告ならびにお願い

奨学金を各6割方引上げ、その引上げ分は「給付」に
仏国第1の大学シアンスポ（パリ政治学院）で玉井講演
英国下院の一室で本会ロンドン事務所開設のお披露目
サッカーの本田圭佑選手が「賢人達人会」メンバーを快諾

昨年2017年は表題にありますように超特大の仕事をさせていただきました。詳しくは、みなさまからのご寄付についてのご報告の後に述べたいと思います。

2017年の「受領証明書」をお届けいたします

2017年1月1日から12月31日までのあなたさまからのご寄付の「受領証明書」をお送りいたします。多くの方々からのご寄付に心から厚く御礼申し上げます。ご寄付の合計額は40億5584万6175円となり、前期比85.4%となりました。重ねてみなさまのご支援に深く感謝申し上げます。大切にに使わせていただきます。

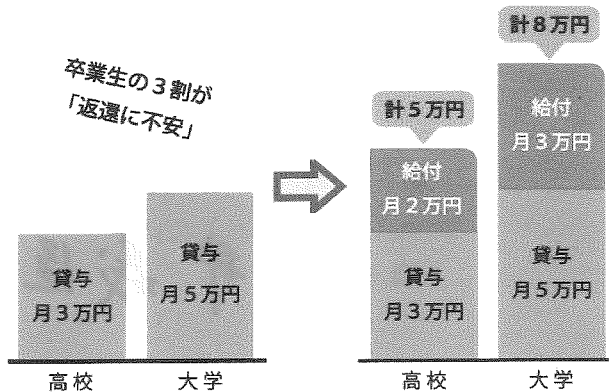
2017年中にみなさまから寄せられましたご寄付額（2017年1月～12月）は次のとおりです。

・あしながさん奨学金	12億6722万6960円	(昨年比93.8%)
・用途を限定しない一般寄付	13億3221万2740円	(昨年比109.4%)
・虹のかけはしさん	1億1169万7352円	(昨年比75.1%)
・海外遺児支援	10億962万3441円	(昨年比67.1%)
・その他	2378万4823円	(昨年比337%)
・熊本地震	1461万894円	
・東日本大地震津波遺児支援関連	2億9668万9965円	(昨年比58.3%)
合計	40億5584万6175円	(昨年比85.4%)

2018年度から奨学金を各6割方引上げ、その引上げ分は「給付」とします

これまでの制度

2018年4月以降



さて、冒頭で述べました「2017年の超特大仕事」についてですが、第1番目は、奨学金を大幅に引き上げ、引き上げた分は返済不要の「給付」とする。この制度を2018年度から開始することを決定したことです。現行の奨学金月額、公立高校生2万5千円、私立高校生3万円、大学生4万円または5万円、専門学校生4万円、大学院生8万円ですが、これに高校生2万円、大学・専門学校生3万円、大学院生4万円の給付金が上乘せられます。

これまで時代の要請を強く感じながらも「給付型」導入に踏み切れなかったのは、すべて寄付による運営故の財源の問題があります。また、20年間で無利子で分割返

済してもらった「貸与型」を継続することで、「あしながさん」の無償の愛を後世に永遠に生かしていきたいという理念もありました。しかし、特に大学進学は、高校卒業後に就職を希望する理由を「経済的に進学できない」とする高校3年生が44.1%にも上るほど厳しくなっています。たとえなんとか進学できたとしても、親からの仕送りがほとんど期待できない遺児学生は、学費・生活費186万円（日本学生支援機構調べ）を奨学金とアルバイトで賄わなくてはなりません。

昨年の「大学奨学生950人調査」では、あしなが奨学金と他の日本学生支援機構などの奨学金（有利子を含む）を併用している学生が6割にも上っていました。奨学金だけでは足りないため、アルバイト漬けになって学業がおろそかになり留年や退学を余儀なくされるケースもあります。こうした「もはや待ったなし」の窮状を救うために、私たちは「給付型奨学金制度」の導入を決断しました。

「給付型」を開始すると、年間さらに15億円から20億円が必要となり、資金を確保していくことが非常に厳しくなります。しかし、遺児たちの未来のため、私たちは「あしなが運動」史上初となるこの制度を死守していくことを覚悟しております。一層のご支援をお願い申し上げます。

仏国第1の大学シアンスポ（パリ政治学院）で玉井が学生ら約300人に特別講義をしました

第2番目は、私玉井が、歴代フランス大統領ら多くの世界的リーダーを輩出してきたシアンスポ（パリ政治学院）のフレデリック・ミオン学長に招かれ、昨年の9月26日に、シアンスポで特別講演をさせていただきましたこと。本会の「あしなが運動」が高く評価されたことを大変うれしく思います。



この講演は、「人生のすべてを世の中の不幸を改善することに捧げてきた玉井義臣と

いう人間と、日本国内10万人の遺児の人生を変え、さらに『あしながさん』の愛をアフリカの遺児にも広げた運動を、シアンスポの学生にぜひ知ってもらいたい」という、フレデリック・ミオン学長の強い希望によって実現しました。なお、ミオン学長は本会の「賢人達人会」のメンバーのおひとりです。

写真のとおり、大教室は世界各国から集まった学生ら約 300 人で満席状態となりました。私は「母の死から 50 年以上も長きに亘って運動を続けてきたのは人間の尊厳を守るためです。それを支えてくださったのは、決して裕福とはいえない多くの庶民の方々が、少額だが『やさしさ』を込めて募金してくださったおかげです」と締めくくると、学生からは次々と質問の手が挙がり、とりわけアフリカ出身の学生から「アフリカ遺児高等教育支援 100 年構想」(Ashinaga Africa Initiative=AAI) への感謝と賛同の声が続きました。ミオン学長は「あしなが育英会との連携は当校の誇り。アフリカの学生をシアンスポにもぜひ入学させたい」と熱く語っていただきました。

英国下院の一室で本会ロンドン事務所開設のお披露目式を行いました



第 3 番目は、シアンスポの講演にひき続き、昨年 11 月 20 日に英国下院の 1 室を借りて本会の「ロンドン事務所」のお披露目である開所式を行ったことです。

この開所式は、「アフリカ遺児高等教育支援 100 年構想」(AAI) を支援する賢人達人、在英アフリカ大使、欧州 15 大学関係者ら総勢約 80 人の出席で熱気にあふれました。そして、大きなインパクトをヨーロッパ関係方面に与えました。

AAI の戦略的拠点が英仏の首都に定着し、AAI 生がこれからはロンドン・パリを經由して、ヨーロッパ全土の

有力大学に留学するルートが確立します。本会のアフリカ青年への教育支援が世界から一層注目されることに間違いはありません。

なお、英国下院は日本の衆議院に相当し、その利用は AAI に共感したデイビッド・ウィレッツ卿 (英国貴族院議員、大学教授) の取り計らいによって可能となりました。

サッカーの本田圭佑選手が「賢人達人会」メンバーに就任しました



最後に子どもたちに大きな希望を与えるニュースです。

サッカーの本田圭佑選手が昨年 12 月 25 日、本会の「賢人達人会」メンバーに就任することを快諾し、私からの委嘱状を手に「アフリカは可能性に満ちあふれる大陸です。ぜひ一緒にやりましょう」と協力を約束

してくださいました。また、「ホンダ・あしながサッカー奨学金」を設立し、将来プロのサッカー選手を目指す日本とアフリカの遺児を支援するという構想を発表しました。なんと夢のある構想でしょうか。サッカーファンの遺児たちには、ぜひプロをめざして頑張ってもらいたいです。

小学生のころからサッカーを始めた本田選手は、2005年からプロの世界に入り、同年に20歳以下の選手で構成されるU20日本代表に選抜され、その後もワールドカップ日本代表などの中心選手として活躍。さらに、名門ACミラン、現在はメキシコ最古のクラブチームであるCFパチューカに所属し、舞台を世界に広げています。

本田選手は世界で活躍するなかで様々な不条理や不平等に遭遇し、自分の果たすべき役割を考えはじめ、サッカーをとおして社会や世界に対してもっと貢献すべきではないかと思うようになったとのこと。こうしたことが私と意気投合し、前述しました「ホンダ・あしながサッカー奨学金」設立構想につながりました。この構想をぜひ形にすべく、今年から着実に進めていきたいと思っています。



今年もただひたすら愚直に

みなさまのご理解とご支援により「あしなが運動」が50年以上継続され、日本の遺児10万人の高校や大学への進学を可能としました。そしていま、その輪を世界の貧困削減を目指して、アフリカ遺児高等教育支援へと広げることができるようになりました。私は、特にアフリカの貧困削減のための「100年構想」(AAI)のロードマップを描いてみましたが、達成するまでの道りは果てしなく長いものとなるでしょう。しかし、それでも100年はかからないと思います。「あしなが運動」がそうであったように、これからも「善を愚直に、ただただ愚直に」をモットーに、母の事故死と妻のがん死をエネルギーとして邁進する決意です。

他にも縷々ございますが、紙幅の都合により割愛させていただきますことをご許してください。詳しくは同封いたしました「あしながニュース」をご一読くださいませ。

寒さ厳しき折、みなさまにはくれぐれもご健勝であられますことをご祈り申し上げます。本年も遺児支援のため何卒よろしく願いいたします。